

地震に備えよう!

家具の転倒・落下・移動に注意しましょう!

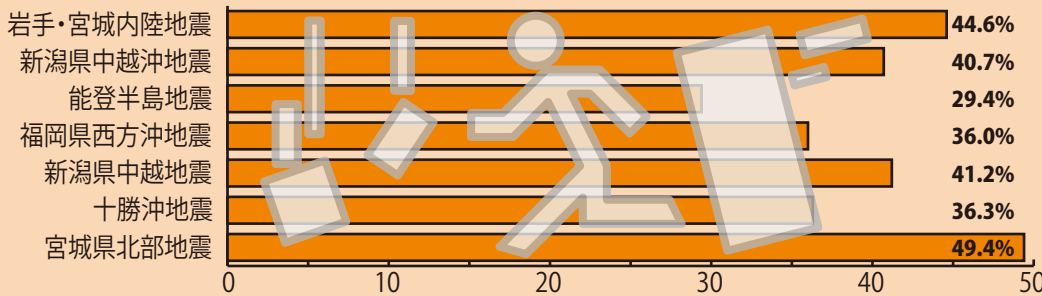
<input type="checkbox"/> 家具がない 安全な部屋がある	<input type="checkbox"/> 家具転倒の 恐れのない部屋で 就寝している	<input type="checkbox"/> 背の高い家具を 置いていない	<input type="checkbox"/> よくいる居間に 重量感のある 家具がない
家具の設置場所・収納方法について			
<input type="checkbox"/> 家具の上に 物を置いていない	<input type="checkbox"/> 家具転倒で 避難口を塞がない ようにしている	<input type="checkbox"/> タンス下部に重い ものを入れるように している	<input type="checkbox"/> 食器棚の物は 整理し減らしている
<input type="checkbox"/> ポール式は ストッパー式と 併用している	<input type="checkbox"/> 固定器具の取付時 壁の下地を確認 している	<input type="checkbox"/> コンクリート壁には ボルトや粘着式を 使用している	<input type="checkbox"/> キャスターはロックし 固定器具を使っている
家具の固定方法について			
<input type="checkbox"/> 家具の開き扉には 解放防止器具を 取り付けている	<input type="checkbox"/> 大型家電には 専用固定器具を 使用している	<input type="checkbox"/> 棚の収容物に 滑り止めマットを 敷いている	<input type="checkbox"/> ガラスには飛散防止 フィルムを貼っている

チェックが入らない場合は、対策が必要になります。

なぜ家具類の転倒・落下・移動防止対策が必要なの?

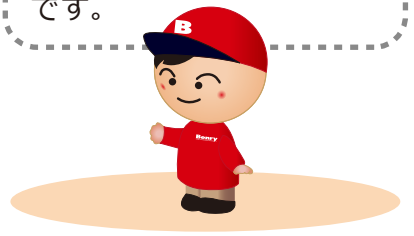
ケガや火災・避難障害につながるからです

【近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合】



出展：東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」

ご家族の負傷、火災の発生、避難障害の発生を防ぐためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策が非常に大切です。



ケガ



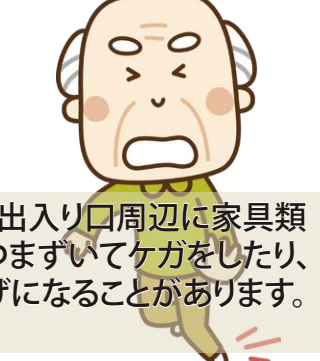
近年発生した地震でけがをした原因を調べると、約30~50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。

火災



家具などがストーブなどに転倒・落下することで、火災が発生するなど、二次的な被害も引き起こします。

避難障害



避難通路、出入り口周辺に家具類を置くと、つまずいてケガをしたり、避難の妨げになることがあります。

大切な資産を守るために

特殊詐欺に気をつけましょう!

特殊詐欺の認知件数は年を追うごとに増加しており、この時間どこかで誰かが詐欺被害に遭っていてもおかしくないほど多発しています。

最近、『特殊詐欺』が増加しています

よくある手口1 還付金詐欺

役所等を騙り「医療費の還付金がある」などと言ってスーパーやコンビニのATMへ誘導し送金操作させる手口



よくある手口2 キャッシュカードをだまし取る

百貨店等を騙り「あなたのクレジットカードが不正利用された」との電話後、警察を騙り「キャッシュカード一時利用停止手続のため暗証番号を教えて」等との電話を入れ、自宅を訪問した犯人がキャッシュカードを封筒に入れさせた上、封印を求め、印鑑を取りに行った際にキャッシュカードをだまし取る手口

慌でないで!!

この電話
詐欺
かも!



特殊詐欺被害を防ぐためには、犯人グループに情報を与えない事、急がされても即断即決せず、信頼できる家族や友人に相談すること、キャッシュカードや暗証番号を絶対に渡さないことが大切です。

よくある手口3 オレオレ詐欺

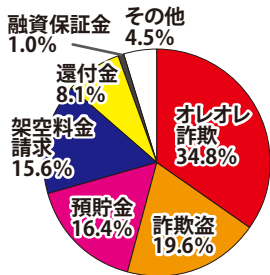
息子や孫を騙り、「仮想通貨で儲けたが、税金を納めていなかった」「弁護士事務所の人がお金を取りにいくから用意して欲しい」などと言い、自宅に来た犯人に現金を手渡させて、だまし取る手口



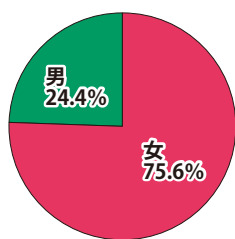
特殊詐欺被害者へのアンケート調査(令和2年中)

特殊詐欺の被害属性

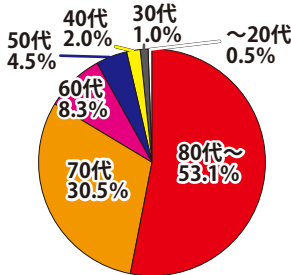
被害種別



性別



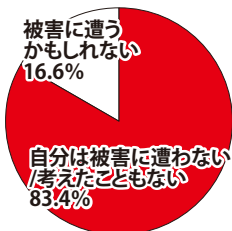
年代別



■回答者の被害種別は、孫を騙る**オレオレ詐欺**、警察や役所を騙りキャッシュカードをだまし取る**預貯金詐欺**および、**詐欺盗**が多くを占めています。

■また性別では**女性が7割**以上で年代は**70代以上が8割**を占めています。

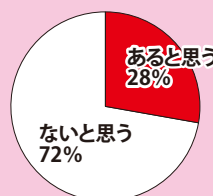
被害に遭う前の意識



■「自分は大丈夫」と思わず、日頃から特殊詐欺の手口を知り、具体的な防犯対策を講じることが大切です。

キャッシュカードを狙われやすい70代以上の方にお聞きしました。

電話で暗証番号を聞くことがありますか?



■金融機関、警察、市役所などが電話でキャッシュカードの暗証番号を聞くことは、

絶対にありません!

愛知県警察本部・生活安全総務課・地域安全対策ニュースより引用



防犯CSR推進宣言とは『Safety Nippon!』を合言葉に、企業や自治体、防犯関連団体による安全・安心なまちづくりへの提案や活動を広く集め、みんなで共有する取り組みです。ベンリーは「全国防犯CSR推進会議」に入会して活動をしています。

■発行者
株式会社ベンリーコーポレーション
〒452-0001
愛知県清須市西枇杷島町古城2丁目10-1
TEL.052-505-8702

私たちは、ベンリー事業を通じて地域貢献活動を推進し、住み続けられるまちづくりをめざします!